

民俗芸能の心

# 神と生きる

—日本の祭りを支える頭屋制度—



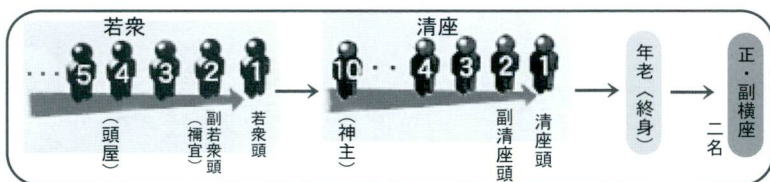
日本人にとっての「神」は、自然のすべてに魂をやどして恵みを暮らしに与え、人の体にも血を分けて生命の源となる地縁血縁の情でつながる存在であった。人々はその神の援護の永遠を求めて、祈願と感謝の祭りを欠かさなかった。その祭りの運営と神への接待を住民から委ねられたのが「頭屋」であった。古代社会では、処女(おとめ)が神の嫁となり、俗界と縁を絶って日夜側仕えしたが、頭屋もまた身心の穢れが神の怒りに触れると怖れ、世事を離れて常時神のそばで、神の心を諮り、神との魂の触れ合いを願いつつ精進に励んだ。

本映画は、その神と生きる頭屋の行動に焦点を当てつつ、地域共同体の神への熱い思いと生活への投影、そして神・人の交わりから創り出される祭りと芸能の美を、島根県美保閨町美保神社の冬・春の祭りと兵庫県社町上鴨川住吉神社の秋祭りによって浮彫りにする。

前者は、『古事記』が伝える「国譲り神話」でつづる海の祭りであり、頭屋が神懸りして祭神再生の姿を演出するなどの儀礼が注目される。後者は中世成立の宮座とよぶ組織が祭りを管理運営し、若衆・清座・年老・横座と年齢経験順の階級を定め、若衆年代に頭屋・禰宜を、清座初年代に神主を当てて精進を積ませ、また、太刀舞・獅子舞・田楽・扇の舞・翁舞といった諸芸能を年齢に応じて演じさせた。神奉仕のきびしい精進・鍛錬を地域の成人教育と芸能伝承に結び合わせる知略は、いかにも祭りを暮らしの中に置き、神と仲良く生きてきた日本人らしく、それをもこの映画は鮮やかに描き出している。



〈美保神社の氏子組織〉



〈上鴨川住吉神社の宮座の組織〉



受渡し(神主と禰宜の交代式)



「ならし」に励む人たち



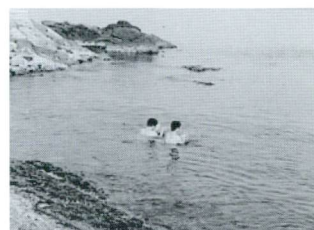
若衆の覗ぎ



釣りを楽しむ事代主神



水を掛け合う二艘の船



潮かき

# 「頭屋たちの熱い思い」

加藤 元康（映画監督）

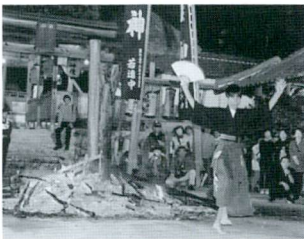
今回のテーマは、人の情念を映像化するというやりがいのあるものとなった。「国譲り神話」を再現する島根県美保関町の青柴垣（あおふしがき）神事と諸手船（もろたぶね）神事。地元美保神社の氏子たちが親から子、子から孫へと綿々と受け継いできた。神前で行われるクジに当たると、神事の執行責任者である頭屋となることから、美保関町では「当屋」という字をあてる。氏子にとって当屋となることは、神に選ばれることであり生涯の名誉である。彼らにとって当屋を務めることは、氏子の代表として明神さまを敬い、感謝し、さらには化身として神そのものになることである。

撮影は当屋の精進潔斎を大きなポイントに置いた。当屋は神様への感謝と畏敬の念を態度で示さなければならない。衣を脱ぎ海で身を清め、紋付・袴に着替えて神社に日参する。彼らは神職ではなく、ふだんは、食堂や醬油屋のご主人である。一般市民としての日常と、神に仕える当屋としての行いを対比させた。

一方、兵庫県社町の上鴨川住吉神社の氏子は、厳格な宮座制度によって700年にわたって神事舞を続けている。神事舞は、若衆と呼ばれる小学生や中学生の子供たちが主体。練習では、子供特有のはしゃぐ姿も見られたが、祭りの本番が近づくにつれて、先輩から舞を受け継ぐ子供たちの表情がだんだん本気モードに変わっていった。

宮座は目上の人への言葉遣いや接し方、礼儀作法を学ぶ場である。舞だけでなく、厳格な宮座のしきたりを体で覚えていく。子供は座の一員として毎年舞を覚えながら、やがて宮座の中心的役割を担う自覚を高めていく。責任感と自覚が宮座の中で培われていることを知り、宮座ひとりひとりの思いが700年にわたって上鴨川の地に息づいているように感じた。

美保神社の頭屋制度と住吉神社の宮座制度には相通じるところがある。氏神様を守ることは自分の住む地域を大切にし、お互いを思いやり助け合って生きていくこと、自分の子々孫々が代々続いていくことを願うことであつた。氏子の人々が受け継ぎ、伝えようとする情熱や責任感、そして地元への愛着、何よりもそこに生きる人々の熱い思いがこの映画を見てくださいる人々に伝われば幸いである。



扇の舞



本祭りでの田楽



神となって御船に向う当屋



奉幣の儀



能舞七番の翁



美保神社



面影を残す青石畳通り



上鴨川住吉神社

作品名：シリーズ<民俗芸能の心>

## 神と生きる

—日本の祭りを支える頭屋制度—

(35mm/カラー/30分)

企画：財団法人 ポーラ伝統文化振興財団

製作：株式会社 毎日映画社

監修：三隅治雄(財団法人 民族芸術交流財団 理事長)



宮座入りした若衆

### <製作スタッフ>

製作：橋本 淳

監督・脚本：加藤元康

撮影：田中昌光

：桜田純弘

：横倉良昌

撮影助手：西森裕一

：木根森基

：小島公也

照明：河村光市

：森口 亮

音声：田中喜昭

：大西洋平

選曲：岩田修一

ネガ編集：山田 弘

タイトル：ツドー工房

録音：東京テレビセンター

現像：(株)IMAGICA

語り：麦 人

### <協力>

#### 美保神社

宮司 横山直材

禰宜 横山宏充

鶴鶴修一 神事奉賛会会長

美保神社神事奉賛会のみなさん

美保関町役場

島根県古代文化センター

#### 上鴨川住吉神社

東谷 保 宮座委員長

大畑悦夫 宮座副委員長

大畑庸郎 上鴨川住吉神社保存会会長

上鴨川住吉神社保存会のみなさん

加東郡教育委員会

社町役場

やしろ鴨川の郷

## 公益財団法人 ポーラ伝統文化振興財団

<http://www.polaculture.or.jp>

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-2-10 ポーラ第2五反田ビル

TEL.03-3494-7653 FAX.03-3494-7597